

山口新聞

平成 24 年 7 月 13 日 (金)

NO. 14

攻めに転じて、集落のさらなる発展を



農地・水・環境
守ろう地域の手に



⑭

石城の里を守る会 (光市)

⑤ 会員の皆さん
⑥ みんなで頑張る水路の維持
管理活動



神籠石で知られる県立自然公園石城山の麓を流れる塩田川沿いに位置する塩田・三輪地域は、過疎化などの影響で農業従事者数が減少し、後継者不足にも悩んでいた。

こうした状況の中、美しい農地を守り、地域が一体となって、さらに発展させていくことを目指し、「石城の里を守る会」は2007年に発足した。主に塩田川から水を引き入れる井手を持つ集落ごとに活動している。

特に力を入れたのは、ほ場整備事業から23年を経て

老朽化した用排水路の改修である。施設の見回り点検をし、作業計画を立てて改修することにより、長寿命化を図っている。また、地元自治会と連携し、地域の環境保全活動を推進している。

これらの活動を通して会員間の意思疎通が図られ、施設の保全とともに、地域の一体化が促進された。

この成果を基に、当組織を母体とした農事組合法人「石城の里」を昨年発足させ、さらなる地元との連携強化を実現し、農業生産の向上を図るとともに、美しい自然を子や孫の世代まで残していきたいと考えている。(代表、末平宏治)

— 金曜日掲載 —

【メモ】代表 末平宏治
 役員 会長 156人、農家、自治会、農事組合法人
 設立 2007年4月1日
 事務局 光市塩田2653、末平さん ☎
 0820・48・4546